

## 第5章 豊かな個性と人間性を育むまち

### 第1節 生涯にわたって学び続ける社会をつくる

#### 主要な施策

- 1 市民の主体的な学習の推進  
生涯学習活動の促進  
生涯学習環境の充実

### 第5章第1節の3年間の事業費（単位：百万円）

年度	21年度	22年度	23年度	合計
金額	107	132	128	367

### 【主な施策の主要事業】

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業計画年度			事業内容等
			21	22	23	
1	市民の主体的な学習の推進	生涯学習活動の促進				
		市民生涯学習推進講座（ときめき大学）				60歳以上の市民を対象に、親ぼくを図り、生きがいのある人生観を持つことを目的にさまざまな知識や教養を身に付け、地域社会に役立ててもらうため、開設する。 学習会の開催回数：年22回を予定 学習会の参加者数：年1,500人を予定
		市民生涯学習推進講座（婦人短期大学）				女性が生きがいのある豊かな人生を築くための教養を深め、その知識を社会に役立ててもらうため開設する。 学習会の開催回数：年22回を予定 学習会の参加者数：年1,000人を予定
		市民生涯学習推進講座（家庭教育学級）				家庭での教育力向上のため、幼稚園児や小学生をもつ親が自主企画して行う子育てに関する学習会などを支援する。 学習会の開催回数：年55回を予定
		市民生涯学習推進講座（市民マイプラン講座）				団体やサークルなどが自主的に行う学習会を支援する。 実施講座数：年30回
		デジタルテレビ購入事業（公民館）				アナログ放送が2011年7月に終了するのに伴い、各公民館において地上デジタル放送の視聴が可能となるようテレビ及びアンテナの整備を行う。
		婦人研修の家管理事業				婦人研修の家箇所数：8カ所 婦人研修の家委託町内会数：8町内会
		生涯学習環境の充実				
		公民館運営管理経費				直営公民館設置数：2カ所 利用件数：年100件

教育施設運営管理経費				市民会館、鷺別公民館、総合体育館、市営陸上競技場の運営管理について、指定管理者制度により委託し、更なる効率的な運営・管理を図る。
登別温泉公民館整備事業				老朽化の著しい公民館について、屋根葺き替え及び外壁補修工事を行う。
鷺別公民館改修事業				老朽化の激しい鷺別公民館についてボイラーや音響設備、照明、テニスコートのフェンス改修を行う。
生涯学習の推進				市民が生涯を通じて学習活動を行うことができる環境を整え、生涯学習社会の実現を目指す。 啓発活動回数：年6回 生涯学習推進協議会等の開催回数：年2回
図書館運営管理事業				図書購入冊数：年5,500冊
移動図書館運行業務委託事業				本の貸し出し、読書活動の推進を図るため、移動図書館車を民間委託し、サービス等の向上を図る。
図書館暖房機更新事業				老朽化した暖房機の更新を行う。
図書館内部改修工事				児童書の寄附等で児童室が手狭になるため、事務室を児童室に改修するなど児童室スペースを整備拡充する。事務室の改修に伴い、事務機器を一部移設する。
図書館駐車場改修工事				図書館駐車場の駐車スペースが少なく、また、駐車幅員も狭隘なためドアの開閉等に支障があるので駐車場を拡張整備し、駐輪場も併せて整備する。
図書館改修工事				玄関を自動ドアに改修する。 老朽化した移動図書館車の車庫シャッターを改修する。
図書館2階書庫の照明器具取替え修繕				蔵書冊数の増加に伴い書架スペースが手狭になったため、2階閉架書庫を開架書庫として利用者に開放しているが、同書庫は開架書庫としては暗いため、明るい照明器具に取り替える。
「ほん」との出会い、ふれ愛、語り合い				図書館以外の施設を利用し、絵本原画展や美術書の解説及び講演会、近隣の公立図書館を巡るライブラリーツアーを実施し、本との出会いや触れ合いを通して、感性を豊かにすると共に、図書館への関心を高める事業を実施する。

## 第5章 豊かな個性と人間性を育むまち

### 第2節 学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む

#### 主要な施策

- 1 子どもたちの生きる力を育む
  - 確かな学力の向上
  - 豊かな人間性の育成
  - たくましく生きるための健康や体力づくり
- 2 地域に根ざした魅力ある学校づくり
  - 特色ある教育活動の推進
  - 開かれた学校づくりの推進
  - 教育環境の充実
- 3 青少年が健やかに地域で育つ環境づくり
  - 地域との連携による青少年の健全育成

### 第5章第2節の3年間の事業費（単位：百万円）

年度	21年度	22年度	23年度	合計
金額	382	182	378	942

#### 【主な施策の主要事業】

主な 施策	基本 的な 方向	主要事業	事業計画年度			事業内容等
			21	22	23	
1		子どもたちの生きる力を育む				
		確かな学力の向上				
		理科教育備品整備事業（小学校）				理科教育設備については国の補助事業を利用し整備を行ってきたが、新学習指導要領に対応した設備は未整備であることから、当該設備の整備を図り新要領の円滑な実施に資する。
		理科教育備品整備事業（中学校）				理科教育設備については国の補助事業を利用し整備を行ってきたが、新学習指導要領に対応した設備は未整備であることから、当該設備の整備を図り新要領の円滑な実施に資する。
		教育課程の編成・実施・評価事業				子どもたちの確かな学力の向上や豊かな人間性の育成、たくましく生きるための健康や体力づくりなどの「生きる力」を育む特色ある教育課程の編成・実施・評価を進め、思考力・判断力・表現力・問題解決能力の育成に努める。 対象学校数：小学校8校、中学校5校
		校内研修の充実事業				研修資料の提示や研修内容の情報交換、指導主幹・胆振教育局指導主事等による学校訪問等を活用し各学校の校内研修充実に努める。 対象学校数：小学校8校、中学校5校

	指導方法の工夫改善事業				各学校において個に応じた指導の充実に努め、指導方法工夫改善加配等を活用しながら、チームティーチング等指導方法の工夫改善に努める。 対象学校数：小学校8校、中学校5校
	豊かな人間性の育成				
	体験活動等特色ある教育活動の充実事業				学校教育全体を通して体験活動等を積極的に取り入れ、心の教育の充実に努める。 対象学校数：小学校8校、中学校5校
	道徳の授業改善事業				道徳の時間の全体計画、指導計画を作成し、指導案の検討など実践研究を進める。 対象学校数：小学校8校、中学校5校
	読書活動の推進事業				各学校の読書活動推進計画や学校図書館運営計画に基づき、読書活動の充実に努める。 対象学校数：小学校8校、中学校5校
	不登校・いじめ対策経費				対策会議開催回数：年2回を予定
	北海道学校保健研究大会胆振(登別)大会補助金				学校関係者、学校医、PTA会員、市町村教育委員会職員等の関係者が一堂に会し、協議・研究実践・交流を通して学校保健の一層の充実を図る。
	スクールカウンセラー活動経費				小・中学校におけるいじめや不登校などの問題行動の対応について臨床心理士などの専門家を学校に配置し、児童・生徒へのカウンセリング体制の充実を図る。 相談件数：100件を想定
	心の教室相談員活動経費				生徒たちの不安やストレスなどを和らげ、心のゆとりを持てるよう、友人関係や進路、親子関係、登校拒否などについての相談を相談員が受ける。 相談員配置校数：中学校5校 相談員数：5人
	たくましく生きるための健康や体力づくり				
	児童生徒健康診断等経費				健康診断開催回数：年14回を予定
	栄養士・栄養教諭との連携事業				学校と学校栄養職員との連携促進や栄養教諭の配置に基づき各学校の「食に関する指導」「食育」の充実を図る。 対象学校数：小学校8校、中学校5校
	学校給食用食器交換事業				学校給食の衛生管理を徹底するため、学校給食用中カップの交換を行い、児童生徒及び園児の心身の健全な発達を目指す。

	学校給食センター改修工事			学校給食センターの老朽化した施設を更新するとともに、調理場内の環境整備を行うことにより、安心安全な給食の提供を行う。 調理場内エアコン設置 トイレの洋式化 食材納品室フード改修及び排水設備改修
	学校医等表彰経費			市内の小中学校の児童・生徒等の健康増進と保健教育の振興に貢献した学校医、歯科医、薬剤師を表彰する。
	指導ボランティアの活用事業			体育教科での指導や特別活動、中学校部活動などで指導ボランティアを積極的に活用するほか、指導講習などを通して指導技術の向上に努める。 対象学校数：小学校8校、中学校5校
	北海道中学校剣道大会事業補助金			北海道中学校剣道大会を開催し、技能体力の向上を図るとともに、心豊かで心身ともに健康な生徒の育成を図る。
	中学校体育連盟助成金			中学校の体育を振興し、健康なスポーツを通して、生徒の健康増進や生徒間交流を図るため、各種大会を主催する中学校体育連盟に助成金を交付する。
2	地域に根ざした魅力ある学校づくり			
	特色ある教育活動の推進			
	外国青年招致事業			外国語指導助手の数：2人 授業実施校数：小学校8校、中学校5校 授業実施日数：年160日
	デジタルテレビ購入事業（小学校）			アナログ放送が2011年7月に終了するのに伴い、各小学校において地上デジタル放送の視聴が可能となるようテレビ及びアンテナの整備を行う。 整備台数：53台
	デジタルテレビ購入事業（中学校）			アナログ放送が2011年7月に終了するのに伴い、各中学校において地上デジタル放送の視聴が可能となるようテレビ及びアンテナの整備を行う。 整備台数：18台
	特色ある学校づくり推進経費			児童・生徒が地域の自然や産業等の素材を活かし、ものづくりや社会体験・観察等を通して、自ら学び、自ら考え、自立への基礎を養う。
	特別活動推進経費（小学校）			児童会やクラブ活動など、児童による自主的・実践的な活動を助長する。
	特別活動推進経費（中学校）			部活動など、生徒による自主的・実践的な活動を助長する。
	自然体験学習推進経費			ネイチャーセンター『ふおれすと鉱山』を活用し、児童・生徒が動植物の観察などの自然体験を行う。 体験学習利用回数（日帰り）：年30回 体験学習利用回数（宿泊）：年10回

	小中学校情報教育推進事業費				高度情報通信ネットワーク社会の進展に対応し、児童生徒がパソコンなどの情報通信機器を使い、さまざまな情報を主体的に選択・活用することができる能力の育成を図る。
	開かれた学校づくりの推進				
	私立高等学校振興費補助金				入学金の一部を助成し、私学教育の振興を図る。
	P T A 連合会助成金				市内の小・中学校と高等学校の P T A で構成する登別市 P T A 連合会の活動（研究大会、母親研修会、広報誌の発行など）を通して、市内各学校の P T A の緊密な連絡調整と、教育の充実発展を図るため、助成金を交付する。 団体主催事業・研修会開催回数：年 4 回
	日本工学院北海道専門学校への広報支援事業				学校案内のパンフレット設置やポスター掲示をとおして広報支援を行う。
	開かれた学校づくり推進事業				開かれた学校づくりを推進するため「学校公開日」を設け、保護者、地域住民が日常の学校教育活動への理解を深め、学校への支援を働きかける。 対象学校数：小学校 8 校、中学校 5 校
	P T A ・地域との連携促進事業				保護者、P T A、地域住民がボランティア等の協力や行事など学校教育活動への積極的な支援体制作りを進める。 対象学校数：小学校 8 校、中学校 5 校
	学習ボランティアの活用事業				各教科、特別活動、道徳、総合的な学習の時間において学習ボランティアの活用を促進する。 対象学校数：小学校 8 校、中学校 5 校
	教育環境の充実				
	児童生徒遠距離通学費補助金				バスで通学する小・中学生の保護者の経済的負担の軽減を図るため、補助金を交付する。 対象学校数：中学校 3 校、小学校 2 校
	スクールバス運行事業				登別温泉町、カルルス町、札内町、来馬町に居住し、登別小学校、幌別小学校、幌別中学校に通学する児童生徒を送迎するため、スクールバスを運行する。 運行回数：日 4 便 運行日数：年 2 5 0 日
	小中学校周辺整備事業				老朽化した小中学校校舎周辺の整備を年次的に進める。 対象学校数：小学校 8 校、中学校 5 校
	小中学校暖房設備改修事業				暖房能力の低下で学校生活に支障をきたしている箇所を年次的に改修し、教育環境の改善を図る。 対象学校数：小学校 8 校、中学校 5 校
	小中学校屋根・外壁改修事業				対象学校数：小学校 8 校、中学校 5 校

	教育施設水洗化整備事業				対象施設数：10カ所
	教育施設解体事業				老朽化が激しく使用していない教育施設等を計画的に解体し、跡地を整備し、用地の処分及び整備などの有効利用を図る。 小中学校のプール解体、教職員住宅の解体
	教職員住宅整備事業				教職員住宅の屋根、外壁の改修及び塗装工事、並びに物置改修を行う。 教職員住宅に改正消防法で定められた住宅用火災報知器を設置する。
	小中学校校舎改修事業				整備対象学校数：小学校8校、中学校5校
	小中学校耐震化優先度調査事業				耐震化優先度調査により、地震に対して倒壊等の危険性が高いと推定される建物等の耐震性能の把握を実施する。
	小中学校耐震診断等事業				耐震化優先度調査の結果を踏まえて、優先度ランクが高い学校施設から順に、耐震診断(2次診断)等を行い耐震性能を把握し、耐震補強工事又は改築工事の実施設計を行う。
	小中学校耐震改修事業				耐震診断(2次診断)の結果を踏まえて、地震に対して倒壊等の危険性があると推定される建物について耐震補強や改築などにより学校施設の耐震化を図る。
	登別市特別支援教育振興協議会交流学习事業補助金				心身に障がいのある児童生徒の能力と個性を最大限に伸ばし、将来社会人としての自立と参加を目指すため、特別支援教育指導内容の研究と実践を図る。 交流学习回数：年8回予定
	特別支援教育就学奨励費(小学校)				特別支援学級に就学している児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な費用を援助する。
	特別支援教育就学奨励費(中学校)				特別支援学級に就学している児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な費用を援助する。
	特別支援教育推進経費(小学校)				心身に障がいのある児童生徒の障がいの状況を的確に把握し、一人ひとりの自立心を最大限伸ばせるよう支援する。
	特別支援教育推進経費(中学校)				心身に障がいのある児童生徒の障がいの状況を的確に把握し、一人ひとりの自立心を最大限伸ばせるよう支援する。
	言語障害通級指導教室運営経費				言語治療を必要とする幼児・児童を対象にことばの教室を開設し、言語障がい児教育の充実・伸展を図る。 通級による指導回数：週1回を予定

		登別市教育研究会運営事業費補助金				職務遂行上必要な専門性の維持向上を図るため、教職員自ら教育のあり方を研究している登別市教育研究会の運営を支援する。 研究会開催回数：年5回を予定
		教育実践研究奨励事業				市内小・中学校の教育レベルを高めるため、実践奨励校ごとに研究主題を定め、その成果を公開研究会で発表するとともに、研究紀要を作成する。



3 青少年が健やかに地域で育つ環境づくり				
地域との連携による青少年の健全育成				
少年の主張大会				<p>中学生（各校代表2名）が、自分の意見を発表し市民に広く訴えることにより、少年の健全育成に対する理解を深めるとともに、同世代の少年の意識高揚を図る。</p> <p>少年の主張者数：年12人を予定</p>
青少年育成指導経費				<p>青少年非行の未然防止を図り、青少年が健やかに育つ環境を構築するとともに、登別市の担い手として模範となる青少年の健全育成を図る。</p> <p>青少年表彰の実施  青少年補導センターによる巡回活動、広報活動  こども110番の家の拡充  青少年問題協議会の開催</p>
成人祭				<p>成人祭の実施に際し、市内に在住する若者達数名から構成される成人祭実行委員会を立ち上げ、教育委員会と協力しながら会場や式典の内容等を決定する。</p>
登別市子ども地域交流プラザ事業補助金				<p>『ふれあい農園』や『巡視船体験乗船』などの事業を行っている登別市子ども地域交流プラザ運営委員会に補助金を交付する。</p>
子ども会活動振興助成金				<p>登別市子ども会育成連絡協議会が開催する『こいのぼりマラソン大会』や『かるた大会』などの活動を支援する。</p> <p>登別市単位子ども会加入団体数：61団体  登別市単位子ども会研修会開催回数：年2回を予定</p>
登別市学校支援地域本部事業				<p>地域の事情に精通した住民の協力を得て、地域の教育資源（人・モノ）を把握し、掘り起こしていくことにより学校が地域の特色を生かした教育活動を進めるため、各中学校区に学校支援地域本部を設置する。</p>

## 第5章 豊かな個性と人間性を育むまち

### 第3節 市民の個性ある文化活動と文化を育む

#### 主要な施策

- 1 市民の文化・芸術活動の育成・支援  
市民文化活動の活性化  
文化活動を担う人づくり
- 2 文化の保存・継承  
歴史の伝承と活用  
アイヌ文化の振興

### 第5章第3節の3年間の事業費（単位：百万円）

年度	21年度	22年度	23年度	合計
金額	81	23	57	161

#### 【主な施策の主要事業】

主な 施策	基本 的な 方向	主要事業	事業計画年度			事業内容等
			21	22	23	
1		市民の文化・芸術活動の育成・支援				
		市民文化活動の活性化				
		中学校音楽祭				市民会館大ホールを会場に、市内5中学校の代表クラスや合唱部、吹奏楽部、マンドリンギター部などの生徒が、合唱や合奏など、日ごろの練習の成果を披露する。 参加校数：5校
		登別市文化振興助成金				『市民文化祭』や『胆振芸術祭』『文化表彰』などを実施している登別市文化協会の活動を支援する。 協会だより発行回数：年1回を予定
		市民会館改修事業				老朽化している市民会館の外壁について、ひび割れなどの改修を行うほか、全面塗装を行うとともに、屋上に一部設置されているトタン屋根について、葺き替えを行う。
		市民会館街灯整備事業				市民会館正面玄関に通じる歩行者階段中段に設置されている街灯2基について、老朽化が激しいことから、取替え工事を行う。
		市民会館整備事業				老朽化した市民会館の施設の更新を行う。

	文化活動を担う人づくり				
	児童・生徒文化振興助成金				市内の小・中学校、高等学校に在籍する児童生徒が、全道・全国大会に出場する際に、保護者の負担を軽減するため、経費の一部を助成する。 助成金交付件数...年5件を予定
	三市合同文化事業負担金				登別市・室蘭市・伊達市の3市合同で舞台芸術鑑賞の機会を提供する。 文化事業の開催回数：年1回を予定 文化事業の参集者数：年700人を予定
2 文化の保存・継承					
	歴史の伝承と活用				
	郷土資料館運営管理経費				開館日数：年295日を予定 入場者数：年3,500人を予定
	文化伝承館運営管理経費				開館日数：年295日を予定 入場者数：年900人を予定
	文化財保護経費				登別市文化財審議会の開催と文化財保護に関する調査研究などを行う。 文化財審議会の開催回数：年1回を予定 登別市指定文化財数：7件
	のぼりべつ文化交流館運営管理経費				埋蔵文化財の収集と保管及び展示、資料に関する説明・助言・指導の実施、資料に関する調査研究を行うとともに、埋蔵文化財に関する体験学習会の開催や講習会、研究会の開催、さらには交流施設として貸館施設に供する。
	アイヌ文化の振興				
	アイヌ文化講座経費				アイヌの人々の生活安定と社会的、経済的向上を図るとともに、地域の方にアイヌ伝承文化を理解していただくために講座を開催する。 アイヌ刺しゅう・トマ織り教室の開催回数：年10回を予定
	アイヌ民族文化祭補助金				アイヌ民族の社会的地位の向上と文化の保存や伝承、普及、発展を図るため、北海道アイヌ協会が行っている事業を支援する。 文化祭開催日数：1日 参加者数：700人を予定
	アイヌ文化普及啓発事業補助金				アイヌ民族の社会的地位の向上と文化の保存や伝承、普及、発展を図るため、北海道アイヌ協会登別支部が行っている事業を支援する。 ホームページによるアイヌ文化等の啓発...通年 アイヌ民族衣装展ピリカノカの開催...年1回 アイヌ文化講演会の開催...年1回
	知里真志保生誕100年記念事業補助金				登別市出身のアイヌ語学者である知里真志保の生誕100年を迎えるにあたり、業績を通してアイヌ文化を未来につなぐため、記念事業の開催を支援する。

## 第5章 豊かな個性と人間性を育むまち

### 第4節 スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす

#### 主要な施策

- 1 生涯にわたるスポーツ活動の推進
  - スポーツ・レクリエーション活動の推進
  - 健康・体力づくりの推進
  - 競技スポーツの推進
  - 施設整備の推進

### 第5章第4節の3年間の事業費（単位：百万円）

年度	21年度	22年度	23年度	合計
金額	65	49	39	153

#### 【主な施策の主要事業】

主な 施策	基本 的な 方向	主要事業	事業計画年度			事業内容等
			21	22	23	
1		生涯にわたるスポーツ活動の推進				
		スポーツ・レクリエーション活動の推進				
		青少年会館運営管理経費				開館日数：359日を予定
		登別市体育協会助成金				スポーツ指導者の育成などを行う登別市体育協会の活動を支援し、スポーツの振興を図るため、助成金を交付する。
		健康・体力づくりの推進				
		生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成事業				市民ラジオ体操会や体力テスト会、スポーツ団体などの指導者育成研修を行う。 市民ラジオ体操会参加者数：年350人を予定 市民体力テスト会開催日数：年100人を予定
		市民プール運営管理経費				利用者数：年119,000人を予定
		市民プールバスパック業務委託事業				市民プールの利用者増を図るため、路線バス運賃とプール入館料をセットしたバスパックを実施する。
		きらり健康ふれあいウォーキング				ウォーキングを通じた市民の生涯スポーツの振興と健康増進・体力向上を目的とし、各地域でのウォーキング・ノルディックウォーキングの講習会の開催、スポーツ・健康フェスティバル「ヘルスウォーキング大会」の開催、ウォーキングマップの作成等を行う。

競技スポーツの推進				
登別市スポーツ少年団育成助成金				リーダー養成事業や競技別交流会などを行う登別市スポーツ少年団の活動を支援し、スポーツの振興を図るため、助成金を交付する。 少年団加盟単位団体数：22団体
児童生徒スポーツ振興助成金				市内の小・中学校、高等学校に在籍する児童生徒や市内のスポーツ団体が、全国・全道大会に参加する際、参加者の負担を軽減するため、経費の一部を助成する。 全国大会出場件数：年10件を予定 北海道大会出場件数：年70件を予定
体育指導委員会経費				体育指導委員会は、スポーツ振興の進行役やコーディネーターとしての役割など、体育・スポーツの振興を図ることを目的として設置されている。委員数は15人で、各種講習会での指導や市民ラジオ体操会、市民体カテスト会などへの協力を行う。 事業実施回数（家庭教育学級、軽スポーツ派遣等）：年10回を予定
三市スポーツ大会事業経費				登別市・室蘭市・伊達市の三市の子供もたちがスポーツを通し、交流を深める。夏季に年1回開催し、室蘭市入江陸上競技場を会場に陸上競技を行う。
施設整備の推進				
陸上競技場整備事業				陸上競技場のトラック整備を行う。 陸上競技場利用日数：年70日を予定
体育施設維持管理経費				若山浄化センターパークゴルフ場使用日数：年200日を予定 総合体育館利用日数：年358日を予定
岡志別の森運動公園運営管理経費				利用者数：年42,000人を予定
登山道維持管理経費				カムイヌブリや来馬岳の登山道の笹狩りを年1回行う。
富岸青少年会館整備事業				老朽化した施設の屋根補修、外壁補修、体育室床フローリング補修を行うことにより、利用者の安全性と事故防止を図る。
学校開放事業				市内に居住又は通勤している方を含む10人以上のグループに、学校の体育施設を開放し、スポーツ活動の場を提供する。